

# 議会と話そう！

## 多摩市議会 春の議会報告会



### 当日の様子

今回の議会報告会では、まず、市民のみなさんの関心の高い、「市役所の建替え」について、多摩市役所本庁舎



建替基本計画特別委員会から、耐震基準や市役所の狭隘化せうがいけなどの本庁舎の課題と建替えの必要性や市及び議会内での検討状況などが報告されました。



次に、もっとも身近な自治体である多摩市の今年度予算の審査について、予算決算特別委員会から、今年度の予算審査がのべ25時間25分、質問者のべ138名で執り行われたこと等が報告されました。

また、個別の事業について、「こども誰でも通園制度」や「不登校支援あたごSpace」、耐震基準のグレーゾーン住宅への補強の補助事業、補正予算で提出された「小中学校の給食費無償化」などが特徴的なものとして紹介されました。

参加された市民のみなさんからは報告会について、「市民が直接参加できる報告会を今後も行ってほしい」、「報告会の周知をもっと工夫してほしい」、「もう少し時間があるとよい」などの感想とともに、活発な質疑応答が行われました。

### 質疑応答 ※一部を抜粋、要約しています

#### Q A 市議会全体への質問

問 市議会の「会派」とはどのようなものなのですか？

答 会派とは、同じ考えを共有して議会活動を行う議員の団体です。特に3人以上の会派を「交渉会派」といいます。多摩市議会には「ひとり会派」もあり、必ずしも政党とは一致しません。

問 交渉会派とひとり会派では参加できる委員会や会議などに差があるのですか？

答 議会運営委員会は交渉会派で構成していますが、多摩市ではひとり会派でもオブザーバー参加を可能にしています。4つの常任委員会では差はありません。

問 ユーチューブで議会を見ているが、一般質問はせいぜい「出来のいい大人の学習発表会」。こういった目的で行われているのでしょうか？

答 市の計画などの方向性と一致している場合は進みやすいが、そうではない場合もあります。市民の意識と行政の認識とをすり合わせて、前に進めていきたいと考えています。行政をやり込める場ではなく、一緒に政策を前に進める場だと考えています。



## 議会運営委員会での ふりかえり

